



仮名作品の第一印象

活用場面

一斉学習
教師による教材の提示

個別学習
個に応じた学習
思考を深める学習

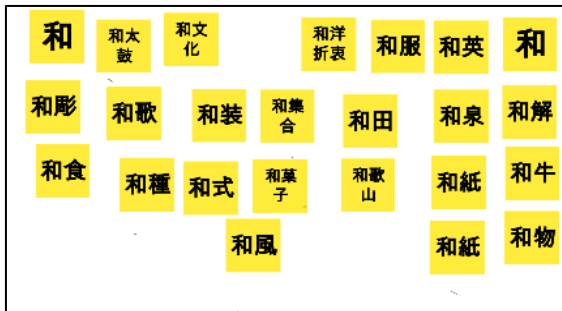
協働学習
発表や話し合い
協働での意見整理

活用した機器等

Chromebook
テレビモニター

活用したアプリ等

Google Jamboard



「和」から始まる言葉

学習のねらい

古筆の歴史や時代背景、文化的価値などについての鑑賞学習を通して、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えることができるようになる。

学習の流れ

導入 小筆を用いた運筆練習の後、仮名作品の第一印象についてクラス全員で意見を出し合う。

展開 仮名の書で扱う平仮名や変体仮名の変遷について確認した後、日本の伝統文化や日本独自の美意識についてどのようなイメージを持っているか、「和」から始まる言葉をクラスの中で発表しあい、その言葉が持つ、共通したイメージを挙げる。

まとめ 古筆を鑑賞し、臨書する。作成した作品を相互に鑑賞し、よいところや改善点について共有する。単元を通じた自らの学びについて振り返る。

ここでICTを活用！

- ・「Jamboard」を活用して、仮名作品の第一印象や「和」から始まる言葉についてクラス全員の意見を共有した。
- ・自身の作品の写真を撮り「Jamboard」に貼り付け、相互鑑賞を行った。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

「Jamboard」を使用することで、発表することが苦手な生徒でも意見を出しやすくすることができた。また、同一題材でも一人ひとりの見方が異なるなど、人によって様々な価値観があることを、より視覚的にわかりやすく理解させることができた。さらに、「仮名」という日本独自の美意識があり、書の美の捉え方が漢字と異なることなど、生徒が書の価値を考えるきっかけとなった。